

福井みな子の市政報告

芦屋市議会議員

福井みな子



平成29年度第3回定例会では、採決の結果すべての議案が可決されました。また、平成28年度の決算審査が3日間にわたり行われ、各会派から選抜された委員による活発な議論が展開されました。

決算特別委員会

～平成28年度の決算から今後の財政状況を考える～



決算審査では市長ならびに公営企業管理者から提出された一般会計、特別会計及び公営企業会計の決算書等の計数が正確であるか、あるいは予算の執行または各事業の経営等が適正かつ効果的に行われているかを審査します。市議会では、平成28年度の決算について、適切な予算の執行が行われているとし、決算を「認定」しました。

<一般会計>

歳入決算額 452億9,601万円。1億9,296万円減少（前年度比）

歳出決算額 442億2,235万円。11億5,483万円増加（前年度比）

実質収支 5億4,789万円。（実質的な黒字額は翌年度への繰越財源を除く）

市債残高（＝市の借金） 489億5,900万円。平成27年度末に475億円に減少したが、平成28年度末残高は高浜町1番住宅等大規模集約事業の借り入れにより増加。（平成13年度末のピーク時は1,119億円。）



決算特別委員会の委員としての審査に臨み、賛成討論を行いました！

福祉・医療



◆生活困窮者自立支援事業：施行から3年を迎え国の見直しが行われるが、その動向に注視しながらの共生社会の実現に向けての取り組みを要望

◆ジェネリック医薬品：医療費の削減に向けた対策として先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えについては、医師会や薬剤師会に対して積極的な働きかけを要望

安心と安全・環境



◆カラス対策：タカ（鷹匠）を活用した方法も含めた被害防止対策の研究を要望

◆医療廃棄物：超高齢化社会を迎えるにあたり在宅医療の増加が見込まれる。家庭から出される個々の医療廃棄物については、ごみハンドブックやホームページを通じてわかりやすく案内されるよう要望

◆市民マナー条例：在住外国人への周知も必要。外国語版の案内の作成を要望

教育・子育て



I'd like to tell you about

◆ファミリーサポートセンターでの相互支援活動：引き続き円滑な事業の運営を要望

◆英語スピーチコンテスト：素晴らしい会であるため市民にも広く周知すべき。英語教育の充実を目指したさらなる取り組みに期待

公共施設



◆市役所南館1階フロアの活用：賃貸も視野に入れた検討を行い、市民に親しまれる市庁舎整備が進められることを要望

◆図書館設備の充実：改修に合わせて、自動貸出機と図書消毒機の設置を要望

福井みな子の意見・要望

決算審査について ※ 福井みな子より一言 ※



第4次総合計画後期基本計画及び芦屋市創生総合戦略の取り組みのスタートの年となった平成28年度。「安全と安心」「芦屋市の魅力発信」「子育て」「教育」に重点を置いた事業に取り組むことで、着実にその一步を踏み出したことを評価したい。

各種財政指標は改善傾向にあるが、経常収支比率は2年連続で上昇。経常的な経費が増加しており財政構造の硬直化が窺える。

市債残高は平成27年度末の475億円から490億円に増加。この数字は芦屋市の財政規模から考え、必ずしも安心できる状況とはいえないだろう。

今後も充実した市民サービスと持続可能な芦屋のまちづくりを進めていくためには、自主財源の確保が重要であり、人口減少対策が急務となる。将来につけをまわさない堅実な財政運営の推進を期待する。

知っておきたい！主な財政指標

財政力指数 0.956

(前年度より0.019ポイント改善)
財政力の強弱を表す指標であり、1に近いほど財政に余裕があり、1を超える団体は普通交付税の不交付団体となる。

経常収支比率 99.2%

(前年度より5.5ポイント悪化)
自治体のエンゲル係数ともいわれ、低いほど財政に余裕がある事を示す。70%～80%程度が妥当と考えられる。社会保障経費を中心とした経費が増加している。

実質公債費比率 3.4%

(前年度より2.1ポイント改善)
借入金の返済割合の大きさを示す。



福井みな子の一般質問

今回は、以下の2つの項目を取り上げました。

芦屋市国民保護計画の実効性について

国民保護とは、日本に対し武力攻撃や大規模テロ等が行われた時に、国民の生命・身体・財産を保護し、被害を最小におさえる措置を指す。この措置に関する法律が「国民保護法」で、平成16年9月に施行された。これに伴い都道府県や市町村には国民保護計画の作成が義務づけられ、芦屋市では平成19年に「芦屋市国民保護計画」を策定している。

質問①「芦屋市国民保護計画」の策定後10年が経過するが、今までこの計画の目的をどのように認識し、その実効性を高めるためにどのような取り組みを実施してきたのか、また、新たに出て来た課題などについて問う。

(回答) 武力攻撃事態等から市民の生命、身体及び財産を保護することであり、Jアラートからの情報伝達を受信確認を実施してきた。今後、武力攻撃事態等を想定した訓練の際には、改めて防災行政無線の動作確認及び放送を行うとともに、市民を対象とした避難行動訓練を実施する。

質問②今後の市民への啓発についての考えを問う。

(回答) 計画については、市民へのさらなる周知が必要と考えており、様々な媒体を通じて、市民が取るべき行動を周知しているところである。

※ 福井みな子より一言 ※

北朝鮮の暴挙に伴い、ようやく実感を持てるようになった国民保護法。万一、弾道ミサイルが着弾した場合、自衛隊には他国への脅威に対応する任務が、また警察には治安維持という任務があるため、住民の安全確保のための避難指示は市の責務になるが、そのような意識を欠いてはいないか？有事に市民に対する情報の伝達を的確かつ迅速に行い、速やかな避難行動へと導けるように、日頃の訓練が大切である。対北朝鮮の緊張長期化も想定される中、国民保護法における市の役割の確認、また関係機関との連携強化の確保が必要になる。

イノシシ対策について

質問 イノシシによる被害防止対策について、近隣の町との情報の共有は行われているのか。特に神戸市や西宮市との連携を強化した中で広域的な一斉捕獲の取り組みが必要ではないか？

(回答) 今後、近隣市と協議をしていく。

質問② 個体数を減らす取り組みとして箱ワナによる捕獲が実施されているが、狩猟免許者の高齢化や担い手の減少が課題である。現況をふまえた上での今後の対策について問う。

(回答) 新たな担い手の育成につながる事業を検討し、出前講座を通じて、市民の皆様と知識や情報を共有し、地域の団体と連携してイノシシ被害の防止対策に進めていく。

※ 福井みな子より一言 ※

昨今、イノシシがえさを求めて山から住宅地に出没し被害を引き起こしている。全国的にイノシシの個体数が増加し分布拡大が進んでいるともいう。様々な環境に対し適応能力が高いことから、今後も住宅地への出没の増加が危惧される。現在、箱ワナによる捕獲が実施されているが、イノシシの習性を理解し、地域が一丸となりイノシシを近づけない環境を作ることも被害防止につながるのではないかと。



編集後記

▼議会運営委員会で岐阜県可児市と多治見市に伺い議会改革について視察。「議員は何をしているのか？」の問いに、工夫しながら「伝える」努力が大切であると痛感しました。▼秋が足早に到来し、朝晩は肌寒くなりました。日々彩りを変えていく六甲山は、自然の織り成す巨大なキャンパスのようです。

芸術の秋、スポーツの秋、食欲の秋。それぞれの秋を満喫してください。

あしや真政会 福井 みな子(自民党)

◆◆◆◆◆ 福井みな子プロフィール ◆◆◆◆◆

1962年生まれ。茨城キリスト教短大卒。東京海上火災保険(株)本店、日本航空(株)、外資系航空会社、(株)JALエクスプレス勤務。専門学校講師を経て、平成23年芦屋市議会議員初当選。平成25年度建設公営企業常任委員長、平成27年度総務常任委員長、平成28年度阪神水道企業団議会議員、平成28年度決算特別委員長、平成29年度議会運営委員長

あしや真政会所属 福井みな子

市政報告 No. 26 平成29年10月発行

〈連絡先〉芦屋市浜町14-6-303 TEL & FAX : 34-0240

http://www.fukui-minako.com E-MAIL : fukui.minako@gmail.com